



郷土を愛する心豊かな子に

校長 榎 千穂子

学校の玄関には、プランターに植えられた色とりどりの花が並び、登校してきた子供たちを迎えています。早いもので、もう1学期の折り返し点に差し掛かりました。

5月8日に新型コロナウイルスが5類に移行し、これまで制限されていた様々な取組が少しずつコロナ前の状態に戻ってきています。子供たちの多くはマスクなしで互いの表情を見ながら楽しそうに会話をしています。また、ランチルームでの給食は、同じ方向を向いて食べるのではなく、距離を取りながらではありますが、対面で食べるようになりました。これまで当たり前になっていた「互いの表情を見ながら相手の気持ちを理解すること」の大切さを改めて感じています。感染症はなくなったわけではありませんのでマスク着用は個人（ご家庭）の判断に委ねていますが、これから暑くなってくるので、熱中症にかからないように登下校や運動時においてはマスクを外すことを指導していきます。

さて、本校の学校司書が、図書ボランティアの方にもご協力をいただき、毎年様々なテーマで読書の掲示（児童玄関に掲示）を作成しています。この掲示は、子供たちの読書冊数に合わせて少しずつ変化していくように工夫されています。昨年度は、卵から恐竜が誕生していくというもので、最後には、全員が目標とする冊数まで到達し、全ての恐竜が誕生しました。読書離れを何とか解消できないかと、この他にも様々な工夫をして読書の習慣化を図っています。今年度の掲示は、「絵本 うのけの昔話」（平成12年宇ノ気町教育委員会発行）がもとになっています。西永学校司書が本校150周年にちなみ、「ふるさと金津」を愛する子供に育ってほしいと願いを込めて考案しました。子供たちは読書冊数に合わせて、横山、笠島、余地、谷、上田名の昔ばなしをめぐっていきます。読書の掲示を見ながら、ふるさとを知り、ふるさとのよさを感じてくれたらと思っています。6月2日に行われる県下学童話し方大会でも、2年生の北岡環さんが、横山の不湖（ふご）池に伝わる「かためのふな」のお話を発表してきます。ほのぼのとした昔ばなしのよさが伝わるようにがんばってほしいと思います。

6月は話し方大会の他に、市の行事である、4年生器械運動交歓会や5・6年生が出場する音楽会があり、今、一生懸命に練習に励んでいます。先日、跳び箱をしていたある子が、「この前まではとべただけど、とべなくなった・・・」と残念そうに言ったので、「できたりできなかつたりするってことは、もうすぐ本当にできるようになるってことだよ。このままやめたらできなくなるし、もう少し続けたらきっとできるようになるよ。がんばって。」と励ましたら、再び元気に練習を始めました。子供たちは周りの人の言葉でがんばろうと努力します。これからも職員一同、子供たちの気持ちに寄り添い、応援していきたいと思えます。保護者の皆様、地域の皆様もどうぞご協力をお願いいたします。

交通安全教室



5月16日(火)警察の方や市関係者の皆様、PTA健康安全部の皆様のご協力のもと、交通安全教室が実施されました。1・2年生は、「安全な道路での歩き方」、「3・4年生は、安全な自転車の乗り方」を教えてくださいました。教えていただいた中で特に大事なことは、「止まる」「見る」「待つ」の3つでした。道路を渡るときに、まず、止まること。そして、車が来ないか見る。そして、車が行ってしまいうまでしっかり待つこと。忘れずに守ってほしいです。

自転車については全国的に事故が増えてきています。ヘルメットをかぶり、交通ルールを守って安全に乗ってほしいと思います。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

器械運動

特訓中!!

GT: 西田さん



4年生は6月6日(火)の器械運動交歓会に向けて、一生懸命練習しています。初めて逆上がりができたり跳び箱が跳べたりする場面に遭遇すると、子ども達の笑顔に感激します。毎日の練習の成果です。練習をしない限り、進歩はありません。器械運動は努力することそのものが大きな目標です。本番まであと少し!がんばれー!

林森(りもり)

5月22日(火)余地の中田さんから「林森(りもり)」のパネルをいただきました。とても立派に仕上がっていてびっくりしました。今にも「林森(りもり)」が飛び出してきて動き出しそうです。金津の森や校舎の中において大事に使っていきたいです。ありがとうございました。



資源回収 みんなで がんばりました!

5月14日(日)横山地区、笠島地区、上田名地区、余地地区で、28日(日)谷地区で資源回収がありました。久しぶりの資源回収となった地区もありました。たくさんの児童や保護者の皆様、地域の皆様にご協力をいただきました。最近ではいろいろなところに回収場所ができて、資源の量も以前と比べて少なくなってきていますが、以前と変わらず保護者や地域の方からかけられる「ご苦労様」「ありがとう」という言葉が子供たちの喜びや励みになっていたように感じました。資源回収の収益金は、学校と地区の子供会とで大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。



なかなか口にできない親子の思いを手紙で…。

親子の手紙募集

今年も金津小では親子の手紙に取り組みます。

一 応募するもの

「親子の手紙」

二 応募内容

家庭の温かさ、親子の会話の大切さ、心の通う家庭づくり等をイメージさせる手紙

三 応募資格

小学生と親(祖父母など家族を含む)

四 校内×切 六月三十日(金)

※用紙は学級担任よりお子さんへ配付します。

※提出時は、切手を貼らずにそのまま

(糊付けは自由)

学級担任までお出しください。

